

春日井の汗

春日井市内には毎日たくさんの出来事が起きています。そんな春日井で起こったことを紹介します。

その1

31万人目は 董ちゃんでした



ちいさな手がとってかわいいわ〜

春日井市の人口が31万人を超えました。記念すべき31万人目となったのは柏井町にお住まいの小瀬戸順平さんと蘭さんの次女董ちゃん。3月22日(土)に誕生し、4月3日(木)に父・順平さんが出生届を市役所市民課に提出し、31万人目の市民となりました。

その2

12組13人が 春日井の魅力 をPRします

4月28日(月)に春日井広報大使を任命しました。大使をお願いしたのは春日井市に縁があり、芸術、文化、スポーツなどの分野で活躍をしている12組13人です。大使の皆さんは、書やサボテンなど春日井の魅力を伝える名刺やPRカードを配って、春日井の魅力を皆さんに広めています。

春日井広報大使



みんなも大使に会って名刺をもらおう!



その3

春日井ナンバーの 導入日が決定



ドライブしながら春日井をアピール!

5月16日(金)、自動車のご当地ナンバー「春日井ナンバー」の交付が11月17日(月)に決まりました。それを受けて、春日井広報大使で漫画家のハロルド作石さんのイラストをポスターに使用、同じく大使でレーシングドライバーの井原慶子さんにPR活動を手伝っていただきます。



その5

危険ドラッグは、買わない、使わない、かかわらない



8月8日(金)、危険ドラッグの危険性を訴え、地域社会から追放するため、春日井市は「危険ドラッグ追放宣言」を行いました。市内では、平成24年に危険ドラッグ使用による交通事故死亡事故が起きていて、今年に入ってからも既に5件の交通事故が発生しています。

絶対に絶対いけなない!



その6

健康について考えました



8月7日(木)、市長と市内38の小学校の代表児童が話し合う「市長を囲んでわくわくトーク」が行われました。今回は、6月にオープンした、総合保健医療センターで開催することにちなみ、「健康を考えよう」をテーマに、話し合いました。



ほくも健康について考えてみよう



代表児童から出た意見
 ○春日井市産のサボテンは栄養があるから給食にもっと出してほしいです。
 ○あいさつ(こ)ここの週間を作ってほしいです。この期間は人に会ったら知らない人でも「おはようございませう」などとひと声かけて、みんなが朝から気持ちの良いスタートをきれる取り組みです。
 ○「3世代で楽しめる」をキーワードに、市の施設で体を動かすための行事を増やしてほしいです。

伊藤市長の感想

それぞれの地域や日頃の生活で感じたこと、思ったことをしっかりと発言してくれて、参考になることがいっぱいありました。これからも、地域や春日井市の行事に積極的に参加して、家族との会話を増やしてほしいと思います。

その4

8月の第1日曜日は「ラジオ体操の日」



イメージキャラクター ラタ坊

あらゆる世代の交流や健康づくりを推進するため、毎年8月の第1日曜日を「ラジオ体操の日」に制定しました。8月3日(日)には、「ラジオ体操の日」の制定を記念した「ラジオ体操会」が行われ、約800人が参加し、心地よい汗をみながら流しました。

みんなて元気いっぱい体操したよ!

